

広報

やまゆり

第 76 号

2018・10・1

社会福祉法人明峰福祉会

特別養護老人ホーム

やまゆり荘

〒449-0211

東栄町大字中設楽字

松久保1-3

☎0536-79-3534

回覧

ホームページ

[http://www.](http://www.meiho-f.com/)

[meiho-f.com/](http://www.meiho-f.com/)

夏祭り

八月三日午後六時半より夏祭りがありました。毎年東栄さんさ踊衆のみなさんによる盆



踊りを見させてもらいながら、輪の中に入れてもらい一緒に踊りに加わったりして、夏の夜を満喫させてもらいました。

んさ「設楽さんさ」は、小中学校の運動会などで踊るので、知って

みえる方も多く踊りの輪に加わります。「おっさま甚句」「数唄」はゆつくりとした盆歌に情緒のある踊りでした、



入所者の皆さんも浴衣に着替えた方も見え、リハビリの時に練習をして準備をしていた、「東京音頭」も二回も踊りました。あと「新さ

津具の「チヨイナ節」はテンポよい踊りで、荘長もノリノリで踊りの輪をリードしていま

した。合間の休憩には、花火をしたり、ゲームコーナーを作って夜店の気分を演出していました。

会場をもとの広い部屋に戻したため、さんさの大きな行燈を真ん中に置けたので、踊りの輪も作りやすくて良かったように思います。



綺麗なハーモニーに

今年も八月十九日に東栄ウッドウインドアンサンブルの皆さんに来ていただきました。現在のメンバーの皆さんは、今回で3回目の慰問とおしゃっていました。それより前にもよく来ていただいていたので、当施設で



はなじみ深いお名前です、フルート、クラリネット、サキソフォンを十三名の皆さんで構成され、演奏曲も入所者の良く知っている懐かしい歌謡曲を中心に六曲を演奏していただきました。入所者の皆さんは、手拍子したり演奏している皆さんに、声をかけたり楽しそうでした。

この頃は、ひと頃に比べると慰問に来ていただける方も減ってきています、このような機会に聞きに、起きて来てくれる方も限

られて、あまり大勢の方が集まれなくなりまし。生演奏の音の重なった感じは、とてもいいですね。楽器を演奏することは、脳の活性になるらしいとテレビで言っていました。が、誰でも



簡単にできる物ではありません。聞きに來られた方は、皆さんは「よかったねー」といっていました。

三健会ボランティア

九月三日に三健会の皆さんが奉仕作業で来て下さいました、晴れていれば除草作業をしていただけの予定だったのですが、雨が降っていたため窓ガラスを拭いていただきました。

部屋の中や廊下が明るくなりました、ありがとうございました。

やまゆり荘の敬老会

九月の十二日にやまゆり荘でも敬老会を行いました、今回で二十六回を数え施設開所の日からですので、あらためて思いますと感慨もひとしおであります。



午前は、荘長がお部屋を回り記念品を御渡ししました記念品は担当の介護士が選ばせていただきました。

昼食は、お赤飯にお刺身、かぼちゃの煮物にとんかつと豪華なお弁当になります。理事長も一緒に会食して下さ



いました。今年には百歳を超える方が四名、百歳の方が二名お見えになり、お花を添えてご長寿を表彰させていただきました。

下川保育園の園児の皆さんが、踊りを踊ってくれました。小さな子たちを舞台袖で踊ってくれている保父さんを見ていて踊らない場面もありとてもかわいく、大きくなるにつれて、踊の振りもしっかり覚えていて、上手に踊っていました。終わりに整列して二曲歌って



た。続けてこの地区に住いの、同級生の皆さんの『おないどし』の皆さんによる、歌と踊りで、会場がひとつになりました、『月がとつ

ても青いから』で青い月と黄色い月のかぶり物でうたつて、『芸者ワルツ』で入所の方も前に出してくれたり、『河内おとこ節』の振り付けを教えていただき、みんなで踊り賑やかでした。

職員の水戸黄門の出し物では、主題歌に合わせて登場し面白いことを言ってまた曲に合わせて帰っていき、そのあと職員がギターの弾き語



りでサザンオールスターズの『真夏の果実』、そして『赤とんぼ』『リンゴの唄』をギターの伴奏でみんなが歌って楽しい会は、おわりました。みなさんこれからもお元気で。

介護士 看護師を募集しています